

十和田湖の紅葉　10月下旬

2026-2027年度 国際ロータリー第2540地区

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

November 2026 11

vol.05

ロータリー特別月間 11月

ロータリー財団月間

Rotary 第2540地区

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027年度 ガバナー　土舘　守

2026-2027年度 国際ロータリー会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ

目 次

ガバナーメッセージ …… 2
地区ラーニングファシリテーターセミナー報告…… 3
RLIラーニング・セミナーPARTⅡ報告…… 4
第2830地区大会参加報告 …… 5～6
ガバナー公式訪問 男鹿北RC、象潟RC…… 7～8
ガバナー公式訪問 秋田南RC、二ツ井RC… 9～10
ガバナー公式訪問 山本RC、横手東RC… 11～13
ガバナー公式訪問 湯沢南、西馬音内、稲川RC…14
ガバナー公式訪問 能代RC、潟上RC……15
ガバナー公式訪問 秋田RC ……16
新会員紹介……17
ロータリー財団寄付者・米山記念奨学会寄付者…18
物故会員……19
熊本地震支援金寄付状況……20
2026年９月会員数の増減 ……21

Rotary 第2540地区

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2540地区
2026-2027年度ガバナー
土舘　守（大館ロータリークラブ）

いよいよ、地区大会が迫ってまいりました。何といっても私の年度での最大のイベントです。多くのロータリアンに集まって頂き、楽しく、有意義な大会となるよう、スタッフ一同張り切って頑張っております。

公式訪問も10月22日の地元大館市内3RC合同例会で終了しました。思い起こせば、体力的にも時間的にも大変な期間でしたが、地区内クラブの現状が分かり、なお且つ温かいおもてなしに心を打たれた、ガバナーとして至福の期間でもありました。改めて、40クラブの皆様に感謝申し上げます。

さて、公式訪問最終日の夜の懇親会の最中に「ゾーン1　クラブサポートミーティング」がZOOMで行われました。主催者がRI会長代理で地区大会にお見えになる田中久夫氏なので、断るわけにもいかず、顔を赤くしながら参加いたしました。

当地区は7月1日から17名会員数が増加しましたが、14地区中最下位で、他は30～100人位会員数が伸びておりました。そこで一つ疑問を感じたことがございます。会員数が伸びる事は良い事ですが、果たしてそれだけで良いのでしょうか?各地区ともオリエンテーションをしっかり実施して、新会員が期待通りのロータリーライフを過ごせるようフォローしているのか不安に感じました。

私は、ロータリーにとって大切な事はロータリー精神だと思います。何度も繰り返しますが「ロータリークラブは単なるボランティア団体ではなく、会員一人一人が職業人として社会に貢献し、そして自らの仕事にも誇りを持ち、発展させていく事を目指している団体である」「私たちは奉仕活動を行う為だけではなく、会員同士が切磋琢磨し合い自分自身や事業を成長させていく。これがロータリークラブだ」と考えております。

人口減少の秋田県にとって、ロータリアン一人ひとりは希望の星であります。ロータリー精神を発揮したロータリアンを一人でも増やす事は、秋田県の成長に繋がります。私は単に地区を維持する為ではなく、会員を増やす事が秋田県の活性化に繋がると信じて、会員拡大を各クラブにお願い致しました。その意味で、地区大会には、地元大館から起業し世界で活躍する、石田陽佑氏に記念講演をお願いしました。

ぜひ私の意をくみ取り、今後のロータリーライフの一助になれば幸いです。

それでは、皆様と地区大会でお会いできる事を楽しみにしております。

Rotary 第2540地区

地区ラーニングファシリテーターセミナー　出席報告

地区研修委員長　桑　山　明　久（本荘ロータリークラブ）

9月9日神戸市ポートピアホテルで開催された表記セミナーに出席しました。

開会10時30分、閉会15時35分とありましたので、秋田発8時伊丹行きで行けば、若干の遅刻で日帰りできると考えました。ところが秋雨前線に発生した雨雲を避けるため到着が20分遅れとなり、おまけに神戸三ノ宮行きのバスへの乗り継ぎがしばらく無くて、会場への到着は約1時間遅れでした。ロータリーの良いところは遅刻をなじるのではなく、「大変でしたね、良く来てくれました」と労ってくれるところです。

午前中は講話（RI理事挨拶、国際ロータリーの現況、ロータリー財団の現況は間に合わず）が主で、私はRIラーニングファシリテーター滝澤功治氏「行動計画を反映した地区運営」と、同じく久木佐知子氏「成人学習の特徴とラーニングの重要性、DLFの役割」そして元RI理事、国際ポリオプラス委員会委員三木明氏「ポリオ根絶に向けて」を聴くことができました。午後はアイデア交換の時間としてゾーンごとのグループディスカッションが行われました。

ラーニングの重要性で、こんな言葉を聴きました。聞いたことは忘れる、教えられたことは思い出すことがある、ラーニングに参加したことは学びとして残る。参加者同士が対話を通じて深く学ぶことが目的です。数年前からトレーニングセミナーがラーニングセミナーに名前を変えました。例えばPETSがPELSになりました。ラーニングセミナーを行うにあたり、大事なことがあります。ひとつは参加者が積極的な態度であること、良く発言し、良く聴くこと。次にファシリテーターが役割を良く理解し、問いを発し、発言を促し、対話を深めていくことです。RLI委員会のみなさん、参加したことのある方には良くご存知のことだと思います。

RIは地区・クラブの中でラーニングの手法でコミュニケーションを深めることを推奨しています。そこから参加者同士の理解と交流が深まります。ロータリーの知識と理解が深まり、満足度の向上、活動参加意欲の高まりなどが期待されます。

午後はゾーンごとに分かれて、アイデア交換会がラーニングセミナー方式で行われました。先ず各地から地区ラーニング委員会（第2540地区は研修委員会）の活動について発表がありました。RLI委員会もかねている地区、ガバナー補佐も委員としている地区など興味深く聴いて来ました。私がこのセミナーに参加して得たことは、ガバナーエレクトがガバナー年度の方針と目標の設定に、できる限りの支援をすること。具体的には地区三大研修（DTLS、PELS、CLLS）に岩佐信宏ガバナーエレクトが期待する成果を挙げられるように、しっかり補佐、支援することを胸に刻んで来ました。そして地区研修委員会が地区の発展に寄与するためにできることを検討するため、先輩パストガバナーが委員を務める地区研修委員会で相談したいと考えています。

Rotary 第2540地区

RLIラーニング・セミナーPART Ⅱ ファシリテーター養成研修　報告書

RLI委員長　桑　原　　透（秋田ロータリークラブ）

2026年10月17日（土）９時30分から秋田テルサにて、「RLIラーニング・セミナーPARTⅡファシリテーター養成研修」を8名が参加して開催しました。

RLIラーニング・セミナー PARTⅡは11月15日（日）に開催されるので、当日のスムーズな進行を務めるべく研修しました。

始めに、PARTⅠの進行についての反省点を全員で確認し合い、PARTⅡ各セッションの担当者選任と全セッションの模擬進行を行なって、改善点を意見交換しながらPARTⅡ当日に向けた各セッションの注意すべきポイントを確認しました。

今回のPARTⅡ受講者が少ない状況であることから、10月末日まで申込締切日を延長し、委員の所属クラブ内や親交がある他クラブへ働きかけて受講者増員を図ります。

各クラブ会長には、是非ともRLIラーニング・セミナーへのご理解と、クラブとしてのRLI受講のメリットを感じていただき、クラブ内で一人でも多く受講希望者を増やしてくださることを強く希望します。

次回のPARTⅢ ファシリテーター養成研修は、来年2月13日（土）に秋田テルサにて開催します。



Rotary 第2540地区

第2830地区　地区大会参加報告

副ガバナー　工　藤　智　教（大館南ロータリークラブ）

◎10月10日

Art Hotelの宿泊部屋に「工藤智教様　この度は国際ロータリー第2830地区　地区大会にお越しいただき誠にありがとうございます。実行委員会スタッフ一同精いっぱいおもてなしさせて頂きますのでよろしくお願い申し上げます」の歓迎の用紙があって、びっくりでした。

◎懇親会のみ出席

◎10月11日

▼ＲＩ会長からのビデオメッセージを紹介しました。 よってＲＩ会長代理の表現はありません。

▼ＲＩ第2500地区パストガバナーの大口寄付コーディネーター細川吉博様のＲＩの現状報告

①会長メッセージの要約は「持続可能なインパクトを生み出そう」

ロータリーの価値は、「成果」だけでなく、人、クラブ、地域社会に長く残る「持続可能なインパクト」を生み出すことにある。

その出発点は、まず自分自身が変わる事である。

変化は自分の中から　　新仲間を温かく迎え入れる

過去の最高を越える　　成果よりインパクトを



②2023年以降、仕組みそのものが動いた

・年次テーマの作成を廃止

・テーマが毎年変わることによるマイナス面を考慮

・３年間コミュニケーション計画を受理

・2028―31年度までの行動計画の会長メッセージを承認

・決議審議会は年次会長テーマ再導入する件を241:211で可決したが、理事会は同意せず

③毎年変わるテーマは、外部に向けてブランドを希薄化させる、との理事会意見

④メッセージの基本文書は、「ＲＩのビジョン声明」「ロータリー財団の標語」「ＲＩ戦略計画４つの重点項目（より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げる、参加者の積極的なかかわりを促す適応力を高める）」である。

⑤ＲＩからの通達を、クラブはどう受けとめるか

前提：クラブ理事会は自治権を持つ

現実：通達の多くは「勧告」や「伝達」

「クラブ理事会はＲＩや地区ガバナーからの通達が直接監督権に基づくものか、単なる要請や勧告や伝達であるかを的確に判断しなければならない」

第2830地区　地区大会参加報告

⑥クラブが自治権に基づいてこれを拒否することは自由であるが、その一方でこれに匹敵するようなプロジェクトをクラブレベルで開発し実践する責任があることを忘れてはいけない。

⑦会長メッセージと財団は、同じ言葉で繋がっている。

2017年7月のビジョン声明：持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界

2026―27年度会長メッセージ：CREATE LASTING IMPACT

ロータリー財団：世界で良いことをしよう

⑧ロータリーのビジョンと財団の役割：身近な地域で、世界で良いことをしていく

⑨財団の活性化が、ロータリーの好循環を生む

⑩ポール・ハリス・ソサイエティにご理解を

⑪11月ロータリー財団月間の卓話アイデア

なぜ人は寄付するか、寄付の本質を考える

「お金」ではなく「意志」の話し　　寄付の先にあるもの

人生で受け取ったもの、次世代に渡すもの



⑫皆さんへの問いかけ

わたしたちのクラブは「持続可能なインパクトを生み出そう」を、どんな行動に移しますか？





Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

男鹿北ロータリークラブ

ガバナー　土舘　守

9月8日(火)男鹿市北浦の「セイコーグランドホテル」にて、男鹿北ロータリークラブの公式訪問を行いました。

男鹿北ロータリークラブのクラブ会員数は、昨年起きた解散の危機を乗り越え、現在6名で頑張っております。そして、以前お父さんが会員であった息子さんを対象に2名の増員を目指していました。

そのきっかけとなったのがゴルフ親睦会で、会員のほかに、入会予定者や十和田秋田ロータリークラブのメンバーなどが参加しているとの事です。

地元の男鹿温泉街が寂れてきているだけに、地区大会基調講演の石田陽佑氏の「地元からのイノベーション」の話には期待しておりました。

また、広報活動もほとんどしておりませんでしたので、地区大会でヒントを得たいと言っておりました。

少人数クラブながら、未来に向かってあきらめない姿勢は、今の第2540地区と同じだと感じました。



Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

象潟ロータリークラブ

会　長　熊　谷　　中

9月9日（水）、象潟「道の駅　象潟ねむの丘」にて象潟ロータリークラブのガバナー公式訪問が行われました。

もともと9名という少人数の当クラブですが、当日は、諸般の事情が重なり、幹事をはじめ5名が欠席することとなり、土舘ガバナーには遠くからおいで頂いたのに大変申し訳ないことでした。

先に行われた会長面談では、当クラブの活動や特性を説明させていただき、現在会員構成が旧象潟町地域であるので、にかほ市全体まで広げれば理論上潜在会員数は３倍になるのではないかと申し上げ、せめて今年度中には数年振りに会員数を２桁にしたいと報告したところ、土舘ガバナーより会員増強と共に退会防止の両輪での取り組みが大事だとアドバイスを頂きました。

例会では、オラインカ・H・ババロラRI会長の「持続可能なインパクト」とは何か、そして土舘ガバナーの７つの地区活動方針についてご講話頂き、会員増強に関しては、魅力ある人間は、魅力ある組織で無ければ入会しない、そして変化を恐れず会員個人が成長していけば魅力あるクラブに成長していくとお話しして頂きました。

公式訪問も当クラブで折り返しとのこと、健康にご留意して公式訪問を終えられますよう祈念して地区大会での再会を楽しみにしております。

ガバナー　土　舘　　守

９月９日（水）、「道の駅　象潟ねむの丘」にて象潟ロータリークラブの公式訪問を行いました。

会員数は現在９名ですが、あと１名増やして２桁に乗せたいと頑張っていました。

象潟ロータリークラブのある「にかほ市」は、仁賀保町、金浦町、象潟町が合併してできた市ですが、メンバーが旧象潟町のメンバーに限られているのが伸び悩みの原因と言っていました。

クラブの特徴として、パストガバナーの村上さんが在籍している事、ネパール人が在籍していて、今回の氷河崩落の大洪水の地域とは離れているが、クラブ全員がネパールの心配をしている事、さらには熊谷　中会長は、会長職が今回４回目、ガバナー補佐が３回経験済みと、小さいながらも特徴あるメンバーがそろったクラブでした。



また過去には、米山奨学生３人のスポンサークラブを務めた経験があります。

奉仕活動としては、ガールスカウトと共に国道清掃をしたり、奈曽の白滝の近くの「ロータリーの森の清掃活動」「栗山池の清掃活動」などを市民と共に行っています。

今後市民と共に行った奉仕活動から、会員が一人でも増える事を期待して公式訪問を終えました。

Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

秋田南ロータリークラブ

幹　事　熊　谷　勇　人

9月10日（木）土舘守ガバナーをお迎えし、公式訪問が開催されました。例会に先立って行われた面談では、事前アンケートを基に当クラブの現状について意見交換を行い、今後のクラブ運営に大変参考になるご助言をいただきました。当クラブ佐藤会長からは、今年度の重点事項として会員増強委員会を「勧誘・増強」と「会員維持」の二つの小委員会に分け、より効果的な取り組みを進めていること、またクラブ独自の奉仕活動として【多機能型ケアベースにのに】への継続支援を行っていきたい旨について説明いたしました。面談を通じて、土舘ガバナー・阿部ガバナー補佐のお二人の穏やかで温かいお人柄が随所に感じられ、終始和やかな雰囲気の中で、クラブの未来を前向きに語り合うことができました。



例会では土舘ガバナーより、地区スローガン「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を実践しよう」のもと、職業奉仕の重要性、会員増強のポイント（人の魅力と組織の魅力）、公共イメージ向上の推進など、具体的で示唆に富むご講話を賜りました。今回のご講話は、クラブとしての歩みを改めて見つめ直す貴重な機会となりました。

土舘ガバナーをはじめ、ご来訪いただきました皆様に心より感謝申し上げます。この度の貴重な公式訪問を糧として、当クラブはさらに一丸となり、今年度の目標達成に向けて努めてまいります。

ガバナー　土　舘　　守

9月10日（木）「秋田キャッスルホテル」にて、秋田南ロータリークラブの公式訪問を行いました。

秋田南ロータリークラブは会員拡大が順調で、3人入会を決め、さらに4人目の獲得に全力を尽くしており、地区の維持に多大な貢献をしております。

特徴的なのが、会員拡大委員会と退会防止のための維持委員会に分かれて活動しているとの事でした。更にはSAAの重要性をよく理解しており、役割がはっきりしていました。

今年度の奉仕活動の取り組みとして、重症心身障害児者支援団体への寄付が挙げられます。これは、手足が思い通りに動かない重症の障害者が、目で動かせるパソコンのマウスや、小指だけでも操作できるパソコンの機器を支援するもので、秋田市の施設では、行政にお願いしても購入してもらえず、秋田南ロータリークラブからの寄付を心から喜んでいますとの事です。

このような重度障害者の施設がある事をほとんどの県民が知らず、また行政の手も届かない分野に奉仕活動を行う事は、まさにロータリークラブの存在意義があると感じました。

会長さんの悩みとして、例会の出席率、クラブ会長のなり手、そしてポリオ活動の意義などを挙げていましたので、例会の卓話では、普段の卓話を変更してお話いたしました。

Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

二ツ井ロータリークラブ

ガバナー　土　舘　　守

9月15日（火）、道の駅ふたついの隣「きみまち阪壱ノ座」にて、二ツ井ロータリークラブの公式訪問を行いました。

今年6月に二ツ井ロータリークラブは5人中4人が退会して解散の危機に陥りました。新年度に入り、会員1名となったクラブですが、現会長の境　一孝氏が「63年の歴史あるロータリークラブを絶対に残す」と言う決意のもと、ゴルフ仲間や以前退会した会員を集め、3人増えて、4名でガバナーを迎えてくれました。「ロータリークラブはもともと4人から始まったのだから、新生二ツ井ロータリークラブは、ちょうど今出発点に立った」と語ってくれました。



そして、会員の中に「社会を明るくする運動」の活動家が居りますので、「特殊詐欺防止キャンペーンを道の駅で実施したい」と、早くも奉仕活動の準備を始めていました。

私からは、クラブを解散せず、会員を増やして頂いたことに感謝を示しました。今後の事務手続きの流れを説明し、地区が全面的に応援する事、そして激励を込めてニコニコを渡しました。「人生死ぬまでが勝負期間、棺桶に片足突っ込んだ位であきらめるな！」「地区大会では、地元から世界中で活躍するイノベーターを紹介するので、共に限界を突破しよう」と励まし合って公式訪問を終えました。



Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

山本ロータリークラブ

幹　事　伊　藤　鉄太郎

来訪日時：2026年9月16日（水）
例会会場：森岳温泉ホテル
ご来訪者：土舘　守ガバナー・佐々木松彦ガバナー補佐・戸嶋一之地区副幹事
講　　話：土舘　守ガバナー

【会長・幹事面談】

土舘ガバナーからご自身のプロフィールをお話しいただき、引き続きオラインカ・ハキーム・ババロラRI会長についてのご紹介と会長メッセージについてご説明いただきました。

そして、地区スローガンと地区活動方針についてお話しいただき、地区組織についてもご説明いただきました。

その後は、当クラブの活動計画書をご覧いただきながら質疑応答の形式でご指導、ご助言をいただきました。

児玉会長からは、当クラブの地域に根差した奉仕活動についてと、今後取り組む会員増強のための施策について詳しく説明があり、土舘ガバナーからはそれに対して参考資料もご提供いただきました。

【例　　会】

昼食後、児玉会長が土舘ガバナーをはじめご来訪された方々への歓迎と御礼の言葉を述べた後、当クラブ会員全員に対し土舘ガバナーからご挨拶ならびにご講話をいただきました。

●ロータリーは寄付団体ではない

ロータリーとは親睦を土台に、職業奉仕を幹にして国際奉仕、社会奉仕、青少年奉仕の花を咲かせる場所です。親睦のエネルギーを蓄え、職業奉仕により経済的基盤を確立し、そうして培ったパワーで様々な奉仕活動ができるのです。

●地区スローガン「初心の感動を忘れず、地域と共に奉仕を実践しよう」

皆さんがロータリーに参加した動機、例えば親睦をしたい、多くの人と知り合いになりたい、また職業上のメリットやヒントを得られるのではないか。こういった動機をしっかりと大切にしていくことが、退会を防ぐ一番の道ではないか。そして最も大事なのは地元であり、地域と共に奉仕を行い、地域を大切にすることが重要なのです。

ガバナー公式訪問例会報告

●七つの改革「地区活動方針」の実践



1. 職業奉仕を重視した会員拡大を図ろう
2. 例会の充実に、地区がもっと支援しよう
3. 公共イメージ向上を推進しよう
4. 行動計画を策定し、クラブを成長させよう
5. 青少年活動を積極的に支援しよう
6. ロータリー財団や米山記念奨学会の募金に協力しよう
7. 変化を恐れずに努力しよう

以上のことについて、土舘ガバナーの熱く強い思いをお話しいただきました。

当クラブ会員一同、土舘ガバナーのご講話に深く感銘を受け、今後のクラブ活動に際しより一層思いを強くいたしました。

最後に、戸嶋地区副幹事から本年11月7日（土）、8日（日）開催の地区大会のご案内をいただきました。

誠にありがとうございました。



Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

横手東ロータリークラブ

会　長　浅　倉　和　也

この県南部も本格的に稲刈りが始まった時期に、令和の米騒動の影響で新米が古米より安く売られるというニュースを耳にしました。安くなることは消費者にとっては有難いことではあるものの、生産者の方々の心境を考えると複雑です。

そんな残暑厳しい中9月17日（木）当クラブ第1866回例会に土舘守ガバナー、中川義徳ガバナー補佐、中川義明地区会計長をお迎えし例会が開催されました。

会長・幹事面談では、事前アンケートのクラブ現況報告書の項目に沿って土舘ガバナーとお話をさせていただきました。

一番の課題である会員増強については他クラブの事例紹介や退会を防ぐ取り組みなどをご指導いただきました。

また、小規模クラブでもできるローターアクトクラブや米山奨学制度の詳細を説明いただきました。

ガバナー講話では、ご自身の自己紹介から始まり「ロータリーの樹」の解説、国際協議会の報告、ロータリー財団の説明等、限られた時間でしたが中身の濃い例会となりました。

今回の公式訪問でいただいたご指導を実践しクラブの今後の発展に活かしていきたいと思います。

ガバナー　土　舘　　守

9月17日（木）「よこてシャイニーパレス」にて、横手東ロータリークラブの公式訪問を行いました。

横手3クラブの中では一番小さいクラブですが、その分まとまりが良く、和気あいあいとしたクラブでした。

会長の浅倉氏も、今年度のクラブテーマを「居心地の良いクラブを目指そう」とまずは退会防止に向けて、全力を尽くしているとの事です。



新会員獲得が思うようにいきませんが、「一番痛いのは、横手でも支店の閉鎖が相次いでいるのが現状です」と嘆いておりました。

奉仕活動としては、市役所脇の平和記念碑の清掃や、スポーツ少年団と連携して子供食堂の支援をしているとの事です。

昨年、やる気のある会員が入会して、クラブの雰囲気も変わって来ているとの事です。今後の横手東ロータリークラブの成長が楽しみです。

また、横手ロータリークラブの岩佐ガバナーエレクトをしっかり応援するとの事でした。

Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

湯沢南、西馬音内、稲川ロータリークラブ

ガバナー　土　舘　　守

9月17日（木）「湯沢ロイヤルホテル」にて、湯沢南ロータリークラブ・西馬音内ロータリークラブ・稲川ロータリークラブの合同公式訪問を行いました。

先ずは午後3時30分より湯沢南ロータリークラブの宮原会長・高橋幹事との面談。宮原さんはRLIや地区の役員も経験しているので、かなり面識があります。過去に京野　学パストガバナー、宮原保夫パストガバナーの二人のガバナーを輩出している名門クラブですが、現在会員数が19名と寂しい状況です。

今、一番問題になっているのは、出席率の低迷だそうです。若い会員が多く入った分、子供や仕事に時間を取られて、なかなか例会に参加できないそうです。早朝例会、夜飲まない例会などのアイデアを出しました。奉仕活動としては、学童野球の支援、やまばと園の支援活動です。

西馬音内ロータリークラブの佐藤会長・安倍幹事と面談しましたが、湯沢南ロータリークラブ同様、例会の出席率が悪く、昼の例会と夜の例会を組み合わせ、何とか改善を図っているとの事です。現在12名の会員が居りますが、若手もかなりいて将来が期待できるクラブです。行政からも頼られていて、各種行事に駆り出されているほか、独自に消防団の支援などもしていました。





稲川ロータリークラブの沓澤会長・齋藤幹事との面談では、会長が入会した時は８名だったが現在16名と増えている。今後は家族会員制度も考えて更に増強したいと述べておりました。悩みはやはり例会の出席率が50％台で低迷している事だそうです。奉仕活動としては、森林の植樹や、学童用の横断旗の贈呈などをしておりました。

夜例会の講話の後、楽しい懇親会です。仙道番楽の上演で大いに盛り上がり、爛漫の美味しいお酒を堪能して、楽しい一時を過ごすことが出来ました。湯沢のおもてなしは、昔から素晴らしいものだと、改めて感心しました。

Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

能代ロータリークラブ

ガバナー　土　舘　　守

9月25日（金）、「プラザ都」にて能代ロータリークラブの公式訪問を行いました。

県北では唯一50名を超えるロータリークラブです。67年の伝統と、パストガバナーを3名輩出したクラブだけに、例会場の雰囲気は格式あるものでした。

会員増強では、52名の会員が在籍しており、女性会員は9名と多彩な顔触れですが、職業分類の穴を埋め、1人でも増やしていきたいと頑張っておりました。

悩みは、企業の支店の数が減ったり、格下げになって、これまで会員だった企業が出せなくなった事を挙げておりました。

奉仕活動としては、能代山本子育てグループの支援、会員企業の従業員の中から、業績の優れた従業員を表彰する、職業奉仕賞を挙げておりました。

また、ガバナー輩出順番がそろそろ回って来るので準備した方が良い事をお伝えしました。

潟上ロータリークラブ

ガバナー　土　舘　　守

9月29日（火）、「ブルーメッセあきた」にて潟上ロータリークラブの公式訪問を行いました。

20年前に昭和飯田川ロータリークラブから、旧飯田川町、昭和町、天王町が合併して潟上市が出来た際、名称を変更したのですが、スムーズに変更できたとの事です。最近では、天王地区からの入会者も増えているとの事です。

潟上ロータリークラブは、地葉パストガバナーと淡路パストガバナーの二人のパストガバナーがいます。その為、ロータリー財団や米山奨学会への寄付額は大きく貢献しております。また、米山奨学生も毎年受け入れており、今年はベトナムから、タ・ティ・フォン君を引き受けております。

会員数は、28名と微減状態ですが、若い幹事が頑張って新しいパンフレットを作り、増員を目指しております。また、エリアが広域の為、出席率が悪いのが悩みの種との事です。

奉仕活動では、特養施設（わかば園、昭寿苑、松恵苑）の活動支援やクリスマスプレゼントを実施しておりました。

来年の創立60周年の準備の年として、色々計画を立てているとの事でした。

Rotary 第2540地区

ガバナー公式訪問例会報告

秋田ロータリークラブ

幹　事　佐　藤　健太郎

2026年9月30日（水）に第2540地区土舘　守ガバナー、石川博司地区副幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問がありました。

松村会長が不在につき、岡本元会長と幹事にて面談を受けましたが、秋田ロータリークラブに対する期待をひしひしと感じる内容でありました。以下、面談内容をまとめました。

①現在の会員数109名を4名増加で113名にして欲しい。その結果、議決数を4票から5票に増やす事が可能となる。
②衛星クラブの設立も是非視野に入れて欲しい。
③出席率増加を意識して欲しい。退会防止にもつながり、活性化したクラブ活動となる。
④広報活動を積極的にやっていただきたい。地区としても広報を行なっているが、第2540地区の中心である秋田ロータリークラブが広報活動を積極的に行う事によってロータリークラブの存在をもっと多くの方に知っていただきたい。

また、例会での講話においては、職業奉仕の大切さを自らの経験に基づいて熱くお話しいただきました。ロータリークラブの奉仕活動を通して社会の中で存在感を高めることの大切さを改めて感じさせる内容となっておりました。

講話の後に石川地区副幹事から地区大会のPRがありましたが、盛会となることを大いに期待させる内容でありました。

更なるクラブ活動の活性化を期待できる素晴らしいガバナー公式訪問でありました。

土舘ガバナー、石川地区副幹事、ありがとうございました!

ガバナー　土　舘　　守

9月30日（水）「秋田キャッスルホテル」にて、秋田ロータリークラブの公式訪問を行いました。当日、松村会長は飛行機が飛ばず、岡本ガバナーノミニーが代理で会長幹事面談に出席しました。

秋田ロータリークラブは県内一番の古株で一番大きく、そうそうたるメンバーが揃っております。それが強みであるとともに、弱みでもあるような気がいたしました。

特に積極的にロータリー活動をPRする努力が、少人数のクラブより少なく、新聞等に活動が掲載される数が少ないような気がしました。これからはやり方を変えて積極的にPRするそうです。

また出席率の低下が気になります。在籍はありがたいのですが、もっと積極的に懇親を深めて欲しいと思いました。

台湾とザンビアに姉妹クラブを持っているのはさすがです。更に例会の隅々に老舗クラブの洗練さが見られました。

地区からの希望としては、「百名を超えるクラブですから、是非、後継者を中心とした衛星クラブを作って欲しい」とお願いしました。秋田ロータリークラブは会員数から言っても地区の約一割に当たります。また地区には、3つの委員会の委員長をお願いしております。秋田ロータリークラブの発展は、そのまま第2540地区の発展に繋がりますので、なお一層の工夫をお願いいたします。



Rotary 第2540地区

新会員紹介

秋田南ロータリークラブ



樫尾（かしお）　陸（りく）　会員

（9月11日 入会）

紹 介 者：石黒　学・熊谷勇人
勤 務 先：RK企画　株式会社
役　　職：代表取締役

秋田南ロータリークラブ



小番（こつがい）　和輝（かずき）　会員

（10月16日 入会）

紹 介 者：石黒　学・熊谷勇人
勤 務 先：Trust　株式会社
役　　職：代表取締役

角館ロータリークラブ



門脇（かどわき）　正平（しょうへい）　会員

（9月30日 入会）

紹 介 者：高橋佐知
勤 務 先：MALHEY
役　　職：代表

ひとこと：普段は、高齢者や障害のある方、地域の困りごとに応える仕事をしています。ロータリークラブでの活動を通じて学ばせていただきながら、自分自身も成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

湯沢ロータリークラブ



柴田（しばた）　耕（こう）　会員

（10月１日 入会）

紹 介 者：和賀幸雄
勤 務 先：株式会社　田村組
役　　職：代表取締役

Rotary 第2540地区

ロータリー財団寄付者

●ポール・ハリス・フェロー

大曲ロータリークラブ

佐々木（ささき）　彰（あきら） 会員

入会年月日・ロータリー歴・その他

2014年6月入会
2024－2025年度　クラブ幹事
2025－2026年度　クラブ副会長

米山記念奨学会寄付者

●米山功労者

本荘東ロータリークラブ



木内（きのうち）　義範（よしのり） 会員

入会年月日・ロータリー歴・その他

1984年1月入会
1998－1999年度　クラブ会長
2022－2023年度　クラブ会長
2009－2010年度　地区幹事
2011－2012年度　中区ガバナー補佐

Rotary 第2540地区

物故会員

湯沢南ロータリークラブ



佐藤（さとう）　愛子（あいこ） 会員

逝去年月日：2026年９月20日
享　　年：48歳
入会年月日：2021年12月

秋田ロータリークラブ



坂本（さかもと）　瑛（えい） 会員

逝去年月日：2026年10月14日
享　　年：84歳
入会年月日：1991年8月

心よりお悔やみ
申し上げます



Rotary 第2540地区

令和８年度 熊本地震支援金

(円)

	クラブ名	7月1日会員	振 込 日	金　　額
1	大　　館	39	10/6	41,000
2	花　　輪	19	9/16	18,000
3	鷹　　巣	4	9/3	6,000
4	大　館　北	12	10/6	12,000
5	十和田秋田	24	8/7	24,000
6	大　館　南	32	10/8	13,000
7	大館中央	14	8/27	14,000
8	能　　代	51	8/28	50,000
9	男　　鹿	8	8/21	8,000
10	二　ツ　井	1		0
11	五　城　目	10	8/31	10,000
12	潟　　上	28		0
13	男　鹿　北	6		0
14	山　　本	11	9/2	11,000
15	能代白神	12	9/30	40,359
16	秋　　田	109	8/27	110,000
17	秋　田　東	80	9/25	79,000
18	秋　田　港	37		0
19	秋　田　北	58	9/29	57,000
20	秋　田　南	41	8/24	43,000
21	秋田中央	40	8/17	40,000
22	秋　田　西	22	9/28	22,000
23	本　　荘	36		0
24	矢　　島	7	8/7	6,000
25	象　　潟	9	8/12	10,000
26	本　荘　東	20	9/28	17,000
27	本　荘　南	6	9/25	5,000
28	大　　曲	53	8/27	100,000
29	角　　館	13	9/7	14,000
30	大　曲　南	13	8/6	14,000
31	大曲中央	12	8/6	13,000
32	田　沢　湖	19		0
33	大曲仙北	12	9/15	12,000
34	横　　手	52	8/7	51,000
35	横　手　南	69		0
36	横　手　東	13	8/20	13,000
37	湯　　沢	69	8/20	68,000
38	西馬音内	16		0
39	湯　沢　南	18	8/5	19,000
40	稲　　川	16	9/8	10,000
	合　　計	1,117		950,359

2026年９月会員数の増減

グループ		クラブ名	会員数				増減
			2026年 7月1日(A)	2026年 9月末(B)	うち 女性	うち 40歳未満	増減数 (B)－(A)
北	大館鹿角	大　館	39	41	2	1	2
		花　輪	19	19	1	0	0
		鷹　巣	4	5	0	0	1
		大　館　北	12	12	2	0	0
		十和田秋田	24	24	1	0	0
		大　館　南	32	32	0	2	0
		大館中央	14	14	1	0	0
	能代男鹿	能　代	51	52	9	1	1
		男　鹿	8	8			0
		二　ツ　井	1	3	0	0	2
		五　城　目	10	10	0	0	0
		潟　上	28	28			0
		男　鹿　北	6	6	0	0	0
		山　本	11	11	0	0	0
		能代白神	12	13	5	0	1
中央	秋　田	秋　田	109	109	6	3	0
		秋　田　東	80	79	5	1	-1
		秋　田　港	37	38			1
		秋　田　北	58	59	4	0	1
		秋　田　南	40	44	3	2	4
		秋田中央	40	40	5	0	0
		秋　田　西	22	22	3	1	0
	本荘にかほ	本　荘	36	37			1
		矢　島	8	7	1	0	-1
		象　潟	9	9	1	0	0
		本　荘　東	20	20	3	0	0
		本　荘　南	6	6	3	0	0
南	大曲仙北	大　曲	53	55	3	3	2
		角　館	13	15			2
		大　曲　南	13	14	2	0	1
		大曲中央	12	12			0
		田　沢　湖	19	19			0
		大曲仙北	12	12	6	1	0
	横　手	横　手	52	50			-2
		横　手　南	69	69			0
		横　手　東	13	13	0	0	0
	湯沢羽後	湯　沢	69	68	2	3	-1
		西馬音内	16	16			0
		湯　沢　南	18	18	0	0	0
		稲　川	16	16	4	0	0
合　計			1,111	1,125	72	18	14

① 未提出のクラブはマイロータリー参照
② 女性会員・40歳未満の会員数は回答があったクラブのみの集計

Rotary 第2540地区
国際ロータリー第2540地区
2026-2027年度ガバナー
土舘　守

〈ガバナー事務所〉
〒017-0012　秋田県大館市釈迦内字家後29-13
TEL 0186-48-3561　FAX 0186-48-3591
E-mail：rid2540g26-27@ymail.plala.or.jp